

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成24年1月27日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 藤商事

コード番号 6257 URL <http://www.fujimaruken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松元 邦夫

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 當仲 信秀

TEL 06-6949-0323

四半期報告書提出予定日 平成24年2月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	31,274	64.3	5,552	523.4	5,614	465.4	3,183	512.0
23年3月期第3四半期	19,033	△29.5	890	△52.7	993	△50.4	520	△59.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	12,785.77	—
23年3月期第3四半期	2,045.30	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	52,266	42,830	81.9
23年3月期	48,258	40,710	84.4

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 42,830百万円 23年3月期 40,710百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	2,250.00	—	2,250.00	4,500.00
24年3月期	—	2,250.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	2,250.00	4,500.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,800	72.1	6,600	—	6,600	—	3,800	—	15,263.80

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

・業績予想の修正については、本日(平成24年1月27日)公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期3Q	254,955 株	23年3月期	254,955 株
24年3月期3Q	6,000 株	23年3月期	6,000 株
24年3月期3Q	248,955 株	23年3月期3Q	254,309 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

上記の業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により、予想数値と異なる結果となる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、添付資料2ページから3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は平成24年1月27日(金)に当社ホームページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから、持ち直しの兆しが見られていましたが、欧州の財政不安などを背景とした海外経済の減速懸念や円高の進行により、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

パチンコホール業界におきましては、景気の低迷に加えて、消費者のレジャーなどに対する節約志向が強くなった影響もあり、パチンコホール全体の経営環境は厳しい状況にあります。パチンコ遊技機では、1円パチンコに代表される低貸玉営業での遊技機の設置比率が上昇するとともに、主な収益源である従来からの営業形態での集客や稼働は伸び悩みを見せており、収益面では厳しい状況が続いております。このため、遊技機の購入につきましても慎重な姿勢が強まり、安定稼働が見込める機種に需要が集中いたしました。

一方、パチスロ遊技機では、人気機種を中心として、パチンコホールでの稼働は回復基調にあります。

このような状況のもと当社は、パチンコファンの皆様に長期間楽しんでいただける「オモシロさ」にこだわり、遊技機のスペック、演出方法、ゲーム構成など、より一層の充実と向上とともに、幅広いファン層に対応した販売ラインナップの充実に取り組んでおります。

パチンコ遊技機につきましては、第2四半期までに発売した3機種のうち、2機種（「CRゲゲゲの鬼太郎 妖怪頂上決戦」「CRリング 呪いの7日間」）については、新スペックを加え継続して販売を行いました。また、ホラーという新たなジャンルの確立を目指し、「リング」に続き「CR地獄少女」を市場投入しました。さらに、スペックに特徴を持たせドットと役物によるコミカルな演出を表現した「CRべにしゃち」を発売いたしました。

パチスロ遊技機におきましては、第2四半期に発売した「マジカルスロット魔法少女隊アルス」を継続販売し、パチンコ、パチスロともに遊技機の販売活動は順調に推移しました。

この結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高312億74百万円（対前年同期比64.3%増）、営業利益55億52百万円（同52.4%増）、経常利益56億14百万円（同46.5%増）、四半期純利益31億83百万円（同51.0%増）となりました。

※製品別の状況は次のとおりであります。

（パチンコ遊技機）

パチンコ遊技機につきましては、「CR地獄少女」シリーズ（平成23年10月発売）、「CRべにしゃち」シリーズ（平成23年11月発売）を発売したほか、第2四半期までに発売しました「CRゲゲゲの鬼太郎 妖怪頂上決戦」および「CRリング 呪いの7日間」について、新スペックを加えて継続販売しました。

以上の結果、販売台数は99千台（対前年同期比66.9%増）、売上高307億50百万円（同61.6%増）となりました。

（パチスロ遊技機）

パチスロ遊技機では、第2四半期に発売しました「マジカルスロット魔法少女隊アルス」を継続販売しました。

以上の結果、販売台数は1千台、売上高5億23百万円（前年同期は0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

①資産、負債および純資産の状況

総資産は、前事業年度末に比べ40億8百万円増加し、522億66百万円となりました。

これは主に現金及び預金が54億63百万円、受取手形及び売掛金が24億23百万円増加したことなどに対し、原材料及び貯蔵品が18億7百万円、有価証券が13億10百万円減少したことなどによります。

負債は、前事業年度末に比べ18億89百万円増加し、94億36百万円となりました。

これは主に、未払法人税等が20億76百万円、未払消費税等が4億78百万円増加したことなどに対し、買掛金が4億91百万円減少したことなどによります。

純資産は、前事業年度末に比べ21億19百万円増加し、428億30百万円となりました。

これは主に、利益剰余金の増加などによります。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前事業年度末に比べ54億63百万円増加し261億37百万円となりました。

当第3四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は、76億67百万円（前年同期は39億92百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、税引前四半期純利益57億25百万円、たな卸資産の減少額22億33百万円、法人税等の還付額10億99百万円などが増加の要因であり、売上債権の増加額24億23百万円などが減少の要因であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、10億88百万円（前年同期は9億24百万円の資金の減少）となりました。

これは主に、有価証券の償還による収入25億円などが増加の要因であり、投資有価証券の取得による支出22億26百万円、有形固定資産の取得による支出12億50百万円などが減少の要因であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、11億15百万円（前年同期は13億74百万円の資金の減少）となりました。

これは、配当金の支払によるものであります。

(3) 業績予想に関する定性的情報

第3四半期までの業績の進捗と第4四半期における業績見通しおよび市場環境等を勘案し、通期業績予想の見直しを行った結果、平成23年9月26日に公表した平成24年3月期の業績予想を修正いたしました。

詳細は、本日別途開示する「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,674	26,137
受取手形及び売掛金	2,260	※2 4,683
有価証券	1,909	598
商品及び製品	430	4
原材料及び貯蔵品	4,468	2,660
前渡金	2,964	3,552
繰延税金資産	1,716	1,246
その他	1,568	123
貸倒引当金	△5	△11
流動資産合計	35,987	38,997
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	2,166	2,102
機械及び装置（純額）	509	400
工具、器具及び備品（純額）	745	1,058
土地	4,357	3,778
その他（純額）	61	58
有形固定資産合計	7,839	7,398
無形固定資産		
投資その他の資産	211	171
長期前払費用	2,262	1,936
その他	2,210	4,034
貸倒引当金	△253	△271
投資その他の資産合計	4,219	5,699
固定資産合計	12,270	13,269
資産合計	48,258	52,266

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	4,540	4,048
未払法人税等	—	2,076
未払消費税等	—	478
賞与引当金	237	181
その他	1,293	1,203
流動負債合計	6,070	7,988
固定負債		
退職給付引当金	751	763
その他	724	684
固定負債合計	1,476	1,448
負債合計	7,547	9,436
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,281	3,281
資本剰余金	3,258	3,258
利益剰余金	34,663	36,726
自己株式	△486	△486
株主資本合計	40,716	42,779
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5	51
評価・換算差額等合計	△5	51
純資産合計	40,710	42,830
負債純資産合計	48,258	52,266

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	19,033	31,274
売上原価	10,269	16,227
売上総利益	8,764	15,046
販売費及び一般管理費	7,873	9,493
営業利益	890	5,552
営業外収益		
受取賃貸料	45	12
利用分量配当金	16	7
受取ロイヤリティー	51	12
還付加算金	—	35
その他	46	47
営業外収益合計	160	116
営業外費用		
シンジケートローン手数料	31	29
貸貸収入原価	17	12
その他	9	11
営業外費用合計	58	54
経常利益	993	5,614
特別利益		
固定資産売却益	0	182
貸倒引当金戻入額	16	—
特別利益合計	16	182
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	20	18
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
投資有価証券評価損	—	53
特別損失合計	63	71
税引前四半期純利益	946	5,725
法人税、住民税及び事業税	72	2,036
法人税等調整額	354	505
法人税等合計	426	2,542
四半期純利益	520	3,183

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	946	5,725
減価償却費	1,839	1,593
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16	23
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△118	△56
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△100	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	8	11
受取利息及び受取配当金	△23	△30
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	43	—
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△182
固定資産除却損	20	18
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	53
売上債権の増減額 (△は増加)	3,168	△2,423
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△355	2,233
未収消費税等の増減額 (△は増加)	△126	337
長期前払費用の増減額 (△は増加)	△237	△91
仕入債務の増減額 (△は減少)	△4,259	△539
未払金の増減額 (△は減少)	△1,051	△337
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△18	478
その他	△1,185	△283
小計	△1,466	6,531
利息及び配当金の受取額	31	42
法人税等の支払額	△2,557	△6
法人税等の還付額	—	1,099
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,992	7,667
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の取得による支出	△1,699	△801
有価証券の償還による収入	2,200	2,500
有形固定資産の取得による支出	△697	△1,250
有形固定資産の売却による収入	0	752
無形固定資産の取得による支出	△74	△42
投資有価証券の取得による支出	△646	△2,226
その他の支出	△12	△26
その他の収入	5	6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△924	△1,088
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△230	—
配当金の支払額	△1,144	△1,115
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,374	△1,115
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,291	5,463
現金及び現金同等物の期首残高	26,398	20,674
現金及び現金同等物の四半期末残高	20,107	26,137

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。